
CONTENTS

- 卷頭言
 - 事務報告
 - 役員体制（2008 年度-2010 年度）
 - 2009 年度学会スケジュール（予告）
-

【卷頭言】

新たなパラダイム転換の予感

理事長 佐々木信彰（大阪市立大学）

昨年の 3 月一杯、ロシアのサンクトペテルブルグ大学で在外研究をする機会があったが、ソ連崩壊後の 1993 年にも 1 ヶ月の滞在経験があり、その時と生活者の立場で比較してみると店での消費財の出回りが良くなり、モータリゼーションが進展して市民生活は豊になったように見えるが、製造業の再構築はうまく行っていない。ロシアは原油、天然ガスなどの高騰によって外貨を獲得し、海外から消費財を輸入して「豊かな生活」を享受しているのである。街中で見る自動車は日本車、ドイツ車が圧倒しており、ボルガなど国産車は稀にしかお目にかかれない。スーパーの食品、アパレルも輸入品が多い。資源価格が暴落すると国内に生産基盤を持たない「オランダ病」経済は脆弱ではないかと心配である。

このようなロシア経済と比較すると中国経済は製造業の面で繊維、雑貨などの労働集約産業から資本集約型産業の鉄鋼、自動車に至るまでフルセット型の経済構造を持っており、「世界の工場」の地位を誇っている。昨年の 12 月末、現地研修を目的に学部のゼミ生と大学院生を引率して上海、蘇州、海口、三亜、広州、東莞、汕頭駆け足で訪問した。世界同時金融不況が中国経済にどのような影響を及ぼしているか、企業の現場を訪ねて実際の影響を探りに行くのが大きなテーマであった。蘇州で訪ねた日系の農機具製造企業では 600 万円～1000 万円もするトラックター、コンバインなどを製造していたが、販売は好調とのことであった。購入のための出資組合を作って農業機械を購入し、オペレーターを雇って南方から北上しながら契約先の農家の刈り取りなどをこなすので、機械の年間使用日数は 200 日を超え、2 年余りで減価償却できるとのことであった。日本の兼業農家は社会保障田を維持するため耕作・収穫に年間わずか 1 週間稼動の高価な農機を買っているのと比べると、中国の方がはるかに賢明な農機購入であると感心することしきりであった。そのほか顔料製造企業、プラスチック容器製造企業を見学したが、昨年未段階ではまだ影響はさほど出ていないとのことであった。

海南島は年末で気温が 22 度から 28 度と初夏並みの快適な気候であった。三亜のホテル

では多くのロシアの金持ちが避寒のために滞在していた。寒い上海から飛んできた私たちもロシア人滞在客の避寒の気持ちがよくわかったものである。海南島ではリゾート開発地で豪華な別荘を見学したところ、購入を勧められたが5000万円前後もすると聞いて、仰け反りながら逆に誰が買うのかと聞き返すと山西省の「煤老板」などお金持ちとのことであった。豪華な大理石作りの各部屋を案内してもらったが、日本製の全自動の麻雀室があった。なるほど石炭の炭鉱を所有する山西省の個人経営者が購入して冬に避寒に来て麻雀をするのかと羨ましく思った。

さて訪中前、珠江デルタの広東省がこの度の世界同時不況の影響を最も大きく受けているとの連日の報道であった。たしかに日本で事前に受け入れ企業を探したがとてもそれどころではないと断られるケースが多かったが、来て見ると交通インフラの整備状況、街の賑わい、応対してくれた中国人の積極思考には驚かされた。東莞では国内需要喚起のためすでに市民一人当たり1000元の給付金を支給したと聞いて、迷走する日本の国民給付金と比べ不況対策のスピードと規模の大きさにこれまた感心したしだいである。

このように見て来ると中国はロシアと比べて上手く行っており、また世界同時不況の影響をさほど受けていないように見えるが、経済成長率は昨年10-12月に急減速し、今年の予測では6%水準との数字が出ている。中国経済は明らかに減速しているのであるが、ここで問題にしたいのは成長率ではなく、中国経済のこの30年の発展方式である。

中国がそれまでの計画経済から市場経済へ、また閉鎖経済から開放経済へ移行するに当たって、1978年末の中共11期3中総会決議と決議を主導した総設計士鄧小平が果たした役割は極めて大きなものがあった。ロシアのビッグ・バン方式ではなく、グラジュアリズム（漸進主義）で試行錯誤を重ねながら改革・開放を進めてきた中国の30年間の経済的実績は誰しもが認めざるを得ないのではないのか。昨年の中国のGDPはドイツを抜いて世界3位に、また輸出は同じくドイツを抜いて世界1位に躍進した。

ただし外需依存型の中国経済はやはり外来の影響を受けやすくその意味で脆弱性をもっている。労働集約型企業の大量倒産、大規模な農民工の失業が伝えられる中、中国政府は中央政府で4兆元、地方政府30兆元の大規模な財政出動と金融緩和で世界同時不況を食い止めようとしており、また今次の経済危機は低付加価値産業の淘汰・整理を通じて産業構造の高度化を図る絶好のチャンスだと捉えるなど積極思考であるが、これまでのように安い労働力を大量投入し、安価な商品を大量生産し、海外に大量輸出する発展方式は限界ではないかと思われる。

今次の外来の経済危機はまた翻って考えてみると、毛沢東時代の計画経済・閉鎖経済を30年間の改革開放政策によってパラダイム転換した鄧小平時代を次の新しいパラダイムへ転換する始まりの予兆ではないかと思われる。内外諸要因の重なりは中国経済の次のパラダイム転換を準備しているのではないかと思われつつあるのである。次の時代がどのようなものになるのか、とりわけ中国経済がどのような発展を見せるのか知的関心の源泉は枯れることがないのである。

【事務報告】

一、2008年度総会報告（2008年10月19日開催）

*総会に先立ち、10月18日に08-10第一回理事会が開催され、西村成雄理事長が常任理事会を代表して次期理事長に佐々木信彰会員（大阪市立大学）を推薦、承認された。引き続き、佐々木新理事長より別項の役員が指名され、理事会で決定した。翌日の総会にも報告された。

●07-08年度会務報告

1. 経過

07.10.20-21 第57回大会（立命館大学びわこ草津キャンパス）

12.6 関東部会研究会

08.1.26 第四回太田勝洪記念中国学術研究賞（太田賞）授賞式

『現代中国』81号掲載論文からは、日野みどり会員が受賞

2.3 第一回常任理事会

顧問懇談会開催

4.26 関東部会修士論文報告会

5.17 西日本部会春季研究集会

5.21 四川大地震常任理事会アピール発表

6.15 第三回関西部会大会

6.20 理事選挙（6.29開票）

7.5 第二回常任理事会

9.30 『現代中国』82号発行

10.17 第三回常任理事会（理事長候補決定）、理事会（総会準備）

その他、各種委員会、地域部会理事会を随時開催した。

2. 地域部会報告・・・各地域部会代表より（略）

3. 『現代中国』82号発行

4. 広報体制

学会ホームページは、学会公式行事案内、掲示板（会員の投稿）は敏速に掲載された。一方、担当者の身体不調などもあり、学会ニューズレター、『現代中国』目次（80、81号）、役員変更などは掲載されなかった。

ニューズレターは、二回の発行（3月25日：23号、9月30日：24・25合併号）にとどまった。

広報体制については、現中學會にふさわしいあり方を今後も模索していく必要がある。

5. 業務委託その他

全体として、順調に推移している。しかし、第一回常任理事会で確認したように経費総額が見積もりを上回っており、今後経費圧縮につとめる必要がある。経費圧縮の一環として、役員選挙がある年はそのための支出が見込まれるため、会員名簿は今後隔年発行としていくこととした。

6. 他団体との協力関係

京都大学人文科学研究所よりの共同利用・共同研究拠点化に関する要請に応じ、理事長名による文科省への要望書を作成、送付した。

現中学会が参加している学会連合は、東洋学アジア研究連絡協議会、地域研究学会連絡協議会（JCASA）の二つである。

●08-09 年度事業計画案（いずれも総会で決定）

1. 次期全国大会開催校・・・神戸大学
2. 企画・出版

日本現代中国学会編『中華人民共和国の60年(or 還暦の中国)―毛沢東から胡錦濤への連続と不連続―』を創土社から2009年中に出版する。

3. 退会者の再入会規定

退会者の再入会希望問い合わせが増えている。再入会の意欲を損なわず迅速に処理するため、次のようにしたい。

・再入会希望者は、再入会と明記した入会申請書を事務局に提出する。再入会では推薦人は必要ない。入会金は必要ない。

・事務局は滞納会費を調査し、希望者に通知する。全額納付が望ましいが、一年分の会費納入があった時点で再入会を承認する。残余の滞納会費は、会費定期請求のたびごとに通常の滞納会費として請求する。

・再入会は一回のみとする。

4. 財政と組織拡大

会員数の漸減が続いているので、新入会員獲得に努める。学会財政状況を点検し、改善に努める。会費値上げは出来るだけ避ける。

5. その他

現時点で未定の事項は、常任理事会および理事会メーリングリストで随時協議決定する。役員については、別項。

二、2009 年第一回常任理事会報告（2009 年 1 月 12 日開催）

出席（敬称略、順不同）・・・佐々木信彰、村田雄二郎、瀬戸宏、白水紀子、加茂具樹、高見澤磨、辻美代、岩佐昌暲、菅原慶乃、石塚迅、加藤弘之

欠席・・・大西広

*冒頭に、佐々木理事長より現理事会発足後最初の常任理事会に多数の参加があったことを謝するあいさつがあった。

●報告事項

1. 経過報告（瀬戸事務局長）

全国大会終了後、新理事会体制は順調に確立している旨の報告があった。

2. 全国大会総括（高見澤実行委員長）

平野会員作成の総括文書をもとに報告があった。会員参加107名、非会員参加24名、計131名。受付体制、バリアフリー、自由論題座長選定などについて、次回以降の大会開催

校の参考になる教訓点が出された。会計上は 143,814 円の赤字になった。これは、懇親会申込者の約半数が参加しなかったことが主要因である。

3. 会計報告（菅原会計）

学会会計の現状および過去三年間の会費納入状況について、報告があった。

- ・みずほ銀行に新口座を開設。みずほ銀行吹田駅前支店（店番 578）普通 1606121 名義：日本現代中国学会。あわせて、日本現代中国学会会計之印、を作成。旧口座の預金を全額入金。今後、会計が交替してもこの口座が引き継げるようにする。

- ・09 年 1 月 6 日現在の会員数は 680 人で昨年同時期と比べ 18 人増。しかし未納 3 年の会員が 24 名おり、今月末の督促で未払いの場合は除籍されるので、最大 24 名の退会が見込まれることになり、新入会員獲得が求められる。

- ・会員はここ数年漸減状況が続いているが、大学生協学会支援センターへの業務委託により会費催促業務が復活し、会費納入率は向上し当面は財政危機は起きていない。

討論を通して、2010 年からの会費値上げ（09 年総会提案）は必要ないことを確認した。しかし、今後も大幅な会員増は学会をとりまく状況から期待できず、学生会費、シニア会費（退職者会費）新設なども含めて、新入会員獲得、退会防止その他の収入増について意見を交換した。

08 年度の次年度繰越金が 4,852,869 円と他の支出総額よりも多く会計上問題があり、特別会計に移行するなどの措置をとって次年度繰越金を減額させる必要があることが指摘された。

4. 編集委員会報告（白水編集委員長）

論文等については、まだ締切になっていないので報告することはない。書評については、会員からの推薦はすでに締めきり、書評担当副委員長を中心に掲載形態を検討中である。

討論の中で、『現代中国』関係経費が主にページ増のため毎年増大していることが指摘され、本年度は前年度を超えないことを目標とすることが確認された。

5. 企画委員会報告（大西担当理事・文書報告）

07 年度共通論題報告者孫歌氏から、執筆困難で辞退の申し出があった。他の原稿（08 年末締切）は約半数がすでに到着し、他も一月末までには到着の見込みである。

6. 各地域部会報告

- ・関東部会は、年末年初の研究会が今年は開催できなかった。4、5 月に修士論文発表会を開催の予定。

- ・関西部会は、6 月 13 日に関西部会大会を大阪市立大学交流センターで開催予定。一月末から自由論題報告公募、共通論題は全国大会プレシンポジウムの予定。

- ・西日本部会は、5 月 9 日または 23 日に研究集会を開催の予定。

●審議事項

1. 08 年度全国大会赤字について

報告事項にあった赤字 143,814 円（高見澤常任理事立て替え）について意見を交換し、全額学会財政から補填することを決定した。これとあわせて、今後は学会からの開催校援助金は渡しきり方式に変更し、赤字が出た場合の財政責任は開催校が負うことを確認した。

2. 09 年度全国大会

- ・開催校：神戸大学、日程：10月17日、18日（決定済み）。
- ・共通論題は「中華人民共和国の60年」という漠然とした内容のみ決定している。共通論題の内容具体化および報告候補者について意見を交換した。
- ・大会運営について、加藤理事が第一回理事会（08.10.19）で配布した文書をもとに意見を交換した。開催校と学会事務局の任務分担、学会当日の会費徴収廃止など広範囲な内容が話し合われた。
- ・共通論題、大会運営とも、関西在住常任理事および関西西部会事務局で企画委員会（仮称）を組織し、今後更に内容を煮詰め、本年6-7月頃開催予定の第二回常任理事会で最終決定することを確認した。

3. 広報体制（加茂広報委員長、石塚ニューズレター担当より説明）

- ・ニューズレターは、2009年は既定方針を踏襲し、2010年は漸次その内容を改新する。
 - ・サイトについて、「会員のサイト」（リンク集）は、多くがリンク切れしており、管理が煩瑣であるので廃止したい。
- 「会員の掲示板」投稿規定を改訂し、原則としてpdf形式の投稿とし、それが困難な場合はこれまで通りdoc形式でもよく、サイト管理者がpdf変換する（その場合文字化けなどが起きる可能性がある）。
- ・サイト改変の承認手続きを明確化してほしい。
 - ・「学会概要」を佐々木理事長を中心に新しいもの書き換える。
 - ・広報委員会体制につき、一名作業補助者を補充する。ただし、まだ会員ではないので、至急入会手続きをとる。

討論の結果、ニューズレター方針、掲示板投稿規定改訂、学会概要書き換え、広報委員会体制を承認した。サイト改変の承認手続きは、広報委員会が必要に応じて常任理事会MLに提起し協議することとした。リンク集（会員サイト）は、継続討議とした。

そのほか、ニューズレター、学会サイトに掲載すべき内容について意見交換した。

4. 組織検討委員会（高見澤組織検討委員長）

公益法人化について、現状では手続きが煩瑣な割には学会にメリットがなく、おこなわないことを確認した。会計について、税務署から査察があった場合に備え、一般会計と『現代中国』会計を区分する必要などが提起された。

5. 役員体制

菅原慶乃理事を会計に任命した。

各地域部会体制を確認した。

石塚迅（ニューズレター編集、山梨大学）、佐藤普美子（関東部会事務局、駒澤大学）、日野みどり（関西西部会総務、金城学院大学）、松村嘉久（関西西部会事務局、阪南大学）各会員を幹事に任命した。広報委員会の委員予定者については、入会手続きが終わった後に幹事に任命することを確認した。

6. その他

本年6-7月頃に関西地区で第二回常任理事会を開催することとした。

7. 今後の予定（別項）

【役員体制（2008年度-2010年度）】

*会計以外の常任理事構成員は08年10月18日理事会で決定。会計監査、顧問は08年10月19日総会で選出。会計、組織検討委員、幹事は09年1月12日常任理事会で決定。地域部会体制は2009年1月12日常任理事会で確認。

■常任理事会

理事長：佐々木信彰（大阪市立大学）

副理事長：村田雄二郎（東京大学）

事務局長：瀬戸宏（摂南大学）

関東部会代表：高見澤磨（東京大学）

関西部会代表：辻美代（流通科学大学）

西日本部会代表：岩佐昌暲（熊本学園大学）

編集委員長：白水紀子（横浜国立大学）

広報委員長：加茂具樹（慶應義塾大学）

（以上で常任理事会を構成、以下常任理事会オブザーバー）

企画：大西広（京都大学）

会計：菅原慶乃（関西大学）

組織検討委員長：高見澤磨（東京大学）

ニューズレター編集：石塚迅（幹事、山梨大学）

ホームページ管理：加茂具樹（慶應義塾大学）

■理事（ニューズレター前号で紹介したので省略）

■編集委員会

委員長：白水紀子（横浜国立大学）

副委員長：山本真（筑波大学）

編集委員：伊藤徳也（東京大学）、宇野和夫（早稲田大学）、奥村哲（首都大学東京）、梶谷懐（神戸学院大学）、金野純（学振特別研究員）、佐藤普美子（駒沢大学）、滝田豪（大阪国際大学）、松田康博（東京大学）、丸川知雄（東京大学）

■組織検討委員会

委員長：高見澤磨（東京大学）

委員：伊藤徳也（東京大学）、辻美代（流通科学大学）、通山昭治（九州国際大学）

■地域部会

□関東部会事務局

代表：高見澤磨（東京大学）

総務：川島真（東京大学）

事務局：趙宏偉（法政大学）、佐藤普美子（駒沢大学）

□関西西部会事務局

代表：辻美代（流通科学大学）

総務：日野みどり（金城学院大学）

事務局：宇野木洋（立命館大学）、田中仁（大阪大学）、巖善平（桃山学院大学）、松村嘉久（阪南大学）

□西日本部会事務局

代表：岩佐昌暉（熊本学園大学）

■幹事

石塚迅（山梨大学）、佐藤普美子（駒澤大学）、日野みどり（金城学院大学）、松村嘉久（阪南大学）

■会計監査

松田康博（東京大学）、山本恒人（大阪経済大学）

■顧問

近藤邦康、高橋満、野村浩一、山田敬三

【2009年度学会スケジュール（予告）】

●西日本部会 2009年春季研究集会

5月30日（土）に、西南学院大学で開催されます。

報告者の公募など詳細は3月下旬に学会ホームページなどで通知する予定です。

●2009年度関西西部会大会

6月13日（土）に、大阪市立大学文化交流センターで開催されます。

現在、自由論題の公募を行っております。詳細は学会ホームページをご覧ください。

●2009年度全国大会

10月17日（土）、18日（日）に、神戸大学で開催されます。

日本現代中国学会事務局

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22

大学生協学会支援センター内 日本現代中国学会事務局

TEL：03-5307-1175 FAX：03-5307-1196

genchu@univcoop.or.jp

郵便振替：東京 00190-6-155984

広報委員長：加茂具樹（慶應義塾大学） ニューズレター編集：石塚迅（山梨大学）

日本現代中国学会 HP：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jamcs/index.html>